

# 令和5年度 児童発達支援自己評価結果表

公表日: 令和6年2月27日 (保護者等への配付数: 13名 / 回答: 13名)

事業所名: 桶川市児童発達支援センターいずみの学園

区分	チェック項目	保護者等の評価				保護者等の評価を踏まえた 改善目標・内容
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
① 環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	0%	施設が老朽化しており、特に各指導室においては、最低限度の構造であるため、改善が必要な状況です。また以前、台風による床上浸水被害を受けたことを教訓とし、安心安全な場所の確保など、子どもたちの成長を支えるに相応しい空間を利用者の方々のご意見を伺いながら、可能な限り早急に定め、移転の準備を引き続き進めていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	92%	0%	0%	8%	各クラス、少人数できめ細かく丁寧な支援を行うため、法令の基準を上回る職員配置、及び教室床面積を満たしております。子どもたちの戸惑いや混乱を減らせるよう、声掛け等の支援をより一層工夫していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	77%	15%	0%	8%	施設が老朽化しているため、バリアフリー化や情報伝達等への配慮に対し、マンパワー等によるソフト面で、鋭意補っている状況です。子どもたち一人ひとりにマーク（キャラクター等の親しみやすいイラスト）を決めて、椅子やロッカー、物入れ箱などに個々のマークを貼ることにし、子どもたちが自分自身の所有であると認識し易いようにし、さまざまな写真や次の行動の絵カード等を支援の中で併用するなどの工夫を行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	0%	ご意見: 「少し気になったのが、外の遊具にくもの巣があって、たまたまあったのかもしれませんが、少し前はよくなんでも口にしていたので、今はないですが、少し気になりました。」 回答: 施設が老朽化しておりますが、屋外の遊具も引き続き清掃等の徹底に努めて参ります。また上記1～3と関連し、施設が狭小であり、個々の捉え方により感覚も異なりますが、衛生的な療育の空間を心地よく過ごせるよう、各部屋やトイレ、施設の屋内外を問わず日々の清掃を徹底しております。また園庭の広さや遊具等を活かし、屋外で伸び伸びと活動するカリキュラムを組み込むなどの工夫をしております。
② 業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	/				子どもたちが降園後、各クラスの職員間において、その日の療育の振り返りを毎日実施し、支援内容の質の向上に努めております。その内容を共有するため、就業時間前に全職員でミーティングを実施し、目標設定や変更点など細部にまで確認を図っております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	/				保護者様へアンケートを実施し、その結果を基に業務改善に向けミーティングを行っております。また日々の連絡帳や親子通園、専門相談等を通じ、保護者様の意向、及び相談に応じながらニーズの把握に努めております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	/				上記と同様に業務の改善に努めております。また、その結果に基づき支援の質の評価、及び改善の内容をホームページ等で公開しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	/				現在は第三者による外部評価は行っておりません。今後、実施を検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	/				研修の開催情報を職員に周知し、参加する機会を促しております。また、参加した研修の内容や資料を職員間でフィードバックし、共有することで理解を深め、療育現場での支援に活用しております。さらに、専門士による機能訓練・検査、並びに相談時のアドバイス、及びケースカンファレンスなど、多方面からの視点で評価した情報を整理・理解し、資質の向上に努めております。
③ 適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	/				定期的にあセスメント・モニタリング・保護者様との面談を実施し、児童発達支援計画をきめ細かく丁寧に作成しております。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	0%	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールとして、遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表を使用しておりますが、今後、他の児童発達支援事業所等を参考にし、より最適なアセスメントツールを検討していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	/				ガイドラインに示されている発達支援及び家族支援の中から、一人ひとりの特性に応じ、評価と検討を繰り返し行いながら、支援に必要な内容を個別に設定しております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	児童発達支援計画に沿った支援を行っております。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	/				日々、子どもたち一人ひとりの発達状況や支援内容を共有し、活動プログラムの立案、及び修正などを実施しております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	0%	毎日、子どもたち一人ひとりの健康状態や発達段階を踏まえ、活動プログラムを組み直し、固定化しないよう様々な工夫を取り入れております。また各行事において、子どもたちや保護者様が新鮮に行事の参加を楽しめるよう、職員が多様にアイデアを出し合い、アレンジしております。さらに子どもたちの日常生活の質を向上できるように、療育支援や通所活動について、検討を繰り返し行っております。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	92%	0%	0%	8%	子どもたち一人ひとりの個性を幅広く細やかに捉え、個別での活動と、集団での活動をバランスよく組み合わせ、児童発達支援計画を丁寧に作成しております。

区分	チェック項目	保護者等の評価				保護者等の評価を踏まえた 改善目標・内容
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
③ 適切な支援の提供（続き）	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	/				子どもたち一人ひとりの児童発達支援について、登園前に必ず職員間で、子どもたちと保護者様の最新情報を共有しながら打ち合わせを行い、当日の療育担当者を個々に設定の上、支援内容並びに役割分担を確認しております。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	/				子どもたち一人ひとりの児童発達支援について、支援終了後に必ず職員間で、子どもたちと保護者様の最新情報を共有しながら、その日行われた支援内容の振り返りを行い、個々の成長や体調の変化など気付いた点を細かく共有しております。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	/				子どもたち一人ひとりの児童発達支援について、日々の支援内容を紙媒体、及び電子媒体に記録し、その内容を職員間で共有しながら、子どもたち一人ひとりの成長や変化に応じて検証を重ね、支援内容を柔軟に変更しながら改善につなげております。
	20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	/				半年ごとにモニタリングを行った上で、児童発達支援計画の見直しを行い、子どもたち一人ひとりの計画内容をさらに精査し、発達・成長等に応じて見直しの必要性を判断しております。
④ 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	/				子どもたち一人ひとりの状況に精通した最もふさわしい児童発達支援管理責任者、及びケースワーカー等が参画しております。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	/				桶川市の母子保健担当者や、子ども・子育て支援担当者と定期的に療育連絡調整会議を実施し、また緊急性がある際は臨時的且つ柔軟に同会議を実施し、さらに通所児童連絡会議を行うなど、各機関とも連携を密に図りながら、子どもたち一人ひとりの状況に合わせて支援を行っております。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/				現在、重症心身障害のあるお子様のご利用はありませんが、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありますので、医療的ケアが行える保健師、及び看護師を当施設に配置しております。また地域の保健・医療機関、保育・教育機関等と連携し、途切れることなく支援を行っております。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/				現在、重症心身障害のあるお子様のご利用はありませんが、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありますので、医療的ケアを当施設で行うにあたっては保護者様を通じ、お子様の主治医及び医療関係者のご意見、処方等を確認し、連絡体制を整えております。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/				定期的に市内公立保育所との交流会や、児童館での交流、年長児の保育所通所支援、学校訪問、施設間研修などを通じ、情報共有と相互理解を図っております。また適宜、個別に必要なに応じて子どもたちに係わる関係各所と情報交換を行っております。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/				年長児の就学にあたり、小学校や特別支援学校、また、桶川市就学支援委員会に参画し、子どもたち一人ひとりの児童発達支援について、発達の状況や支援の内容、療育場面の取組などについて、就学機関等と連携し、情報共有と相互理解を図っております。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	/				リモート研修が定着し、適宜、参加しております。他の児童発達支援関係者等からも助言を受けるなど連携が深まりました。虐待防止について、全職員で療育現場での言動を再確認し、自己研鑽に努めております。今後は近隣の児童発達支援センター等を含め、さらに連携が強化できる方法を研究して参ります。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	92%	0%	0%	8%	ご意見：「引き続き、障害のない子どもたちとの交流の機会を作ってほしい。」 回答：今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に変更となり、定期的に市内公立保育所との交流会や、児童館での交流、年長児の保育所通所支援などを通じ、市内の数多くの子どもたち、さまざまな性格や個性ある子どもたちと活動する機会が増えました。今後もこのような機会を設けるように努めて参ります。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	/				子ども発達相談支援センターの職員が、上尾・桶川・伊奈地域自立支援協議会の委員となり、こども部会に参加しております。また当施設の所長が、こども計画庁内検討委員会の委員となり、業務を調整しながら可能な限り積極的に参加しております。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	0%	日々、子どもたち一人ひとりの連絡帳、親子通園、各種行事、保護者公開日、専門相談等を通じ、お子様の状況を保護者様と職員で頻りに伝え合い、お子様の発達の状況や課題・目標等について、共通理解を持っております。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	77%	8%	0%	15%	ご意見：「ペアレント・トレーニングに興味がある。」 回答：日々、子どもたち一人ひとりの連絡帳、親子通園、各種行事、保護者公開日、専門相談等を通じ、子どもたち一人ひとりの特性に合った関わり方などを保護者様に分かりやすくお伝えし、必要に応じて支援内容の勉強会等を例年開催しております。今後も社会情勢の変化に応じ、柔軟に家族支援を行ってまいります。



区分	チェック項目	保護者等の評価				保護者等の評価を踏まえた 改善目標・内容
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
⑤ 保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	0%	契約時に説明会を開催し、資料等を配付し直接保護者様へ丁寧にご説明しております。また必要に応じ、入園前の施設・療育見学、療育体験、及び入園前面談に、適宜、ご質問等にお答えしながらご理解しやすい説明を心掛けております。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	0%	児童発達支援ガイドラインに基づき、児童発達支援計画を作成し、保護者様から同意を得た上で、子どもたち一人ひとりの発達・成長等に合わせ支援を行っております。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	0%	日々、子どもたち一人ひとりの連絡帳、親子通園、各種行事、保護者公開日、専門相談等を通じ、保護者様からの子育ての悩み等、各種相談内容に応じて適宜職員より必要な助言と支援を行っております。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	0%	保護者公開日の開催や親子通園、各種行事などを通じて保護者様が集まる機会を定期的に設け、保護者様同士の交流や連携が図れるような支援を心掛けております。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	77%	8%	0%	15%	子どもたちや保護者様一人ひとり、相談や申入れ等があった場合には、迅速かつ適切に対応できる体制を整備しております。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%	毎月「学園だより」の通知や、各種連絡等により、当施設での活動概要や行事予定等の情報を発信しております。また緊急時には電子媒体により、保護者様へ一斉にメールを送信する連絡手段をとっております。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	92%	0%	0%	8%	子どもたち一人ひとり、及び保護者様の個人情報を管理するパソコン等の電子媒体には、パスワードを設定するなどのセキュリティを講じて管理を徹底し、取扱いには十分注意を図っております。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	92%	8%	0%	0%	ご意見：「療育中のお子さんへの言葉かけが、気になる先生がいらっしやいました。先生の言葉かけや行動など、保護者としては参考にさせて頂いている所があるので、意識して頂けると良いかなと思いました。」 回答：子どもたちや保護者様の戸惑いや混乱を減らせるよう、声掛け等の支援をより一層工夫し、丁寧に努めていきます。また、コミュニケーションが苦手な子どもたちや保護者様には、写真・絵・図・筆談・指さし・ジェスチャー・音声などの情報伝達手段を幅広く活用し、療育場面に合わせて柔軟に対応しております。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	/				「親子夏祭り（夏季）」や「運動会（秋季）」などの行事には、地域の自治会役員等を招待するなど、開かれた事業運営を行っております。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に変更となり、行事の規模を例年通りに開催しました。また、毎月「学園だより」の通知を近隣に配付し、当施設での活動概要や行事予定等の情報を発信しております。	
⑥ 非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	92%	0%	0%	8%	「防災計画及び行動マニュアル」及び「感染症対応マニュアル」を策定し、避難訓練等を実施しておりますが、過去の台風による床上浸水被害を受けたことを教訓とし、災害時の対応は当然のことながら、災害後の療育について、再度マニュアルの見直しを行い、職員及び保護者様への周知を実施しております。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	0%	毎月、避難訓練等を行い、非常災害の発生に備えておりますが、子どもたち一人ひとりの生命を守り、安心と安全を確保するため、様々な災害の発生を想定した訓練を定期的に工夫を凝らしながら行っております。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	/				保護者様を通じ、母子手帳、お子様の主治医及び医療関係者のご意見、処方等を確認し連絡体制を整え、事前に服薬、予防接種、てんかん発作等の状況を確認しております。また、医療的ケアが行える保健師、及び看護師を当施設に配置し、療育職員へ対応方法を周知しております。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/				保護者様を通じて医師の指示書に基づき、当施設の職員が保護者様と面談を実施し、桶川市の栄養士の意見を取り入れながら、個々にアレルギー食の提供を行っております。また、定期的に栄養士との面談機会を設け、情報共有を行っております。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	/				日々のミーティング、及びヒヤリハット報告書等の中で、ヒヤリハットについて情報共有の上で検証を行い、その都度、改善策・対応策等を検討し、事故等の予防に活用して、子どもたちへ安心・安全な療育環境を提供しております。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	/				今年度は虐待防止について、全職員で療育現場での子どもたちへの言動を客観的に再確認し、他者からの声掛け、また、虐待防止につながる基本的な研修を受講し、自己研鑽に努めております。さらに近年、県内で報道されている事例等も検証し、今後も虐待及び不適切な対応の無い療育環境作りを継続してまいります。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	/				子どもたち一人ひとりの個性や行動の特徴、発達段階を踏まえ、細かく丁寧に対応方法等について組織的に検討を重ね、その内容を必ず保護者様へ確認及び説明を行い、了解を得た上で児童発達支援計画に記載しております。
⑦ 満足度	48 子どもは通園を楽しみにしているか	68%	16%	0%	16%	・楽しみにしています。 ⇒ 引き続き子どもたちの発達段階を踏まえ、療育の参加を楽しめるよう工夫して参ります。 ・どちらともいえません。 ⇒ 子どもたち及び保護者様が通園を楽しめるよう上記同様、目づねに合わせ支援します。 ・わかりません。 ⇒ 子どもたちの意思表現を受け止め、それを楽しみにつなげられるよう、努めて参ります。
	49 学園の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	・満足しています。 ⇒ 引き続き子どもたちの発達段階を踏まえ、保護者様に寄り添いながら支援に努めます。